

インドネシア水道に係る情報収集 No. 210801W

検索サイト	Google	実施日	2021/8/8	実施者	T. Masuoka
検索方法 : 「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; Integrated urban water resource management for climate resilience: lessons from Indonesia PreventionWeb.net					
標題 : Integrated urban water resource management for climate resilience: lessons from Indonesia					
題名 ; 気候変動に対応した都市の総合的な水資源管理 ; インドネシアの事例に学ぶ 最初に ; Mercy Corps Indonesia は、ペカロンガン市の関係者と協力して、気候変動による洪水に対処するために都市の総合的な水資源管理政策の策定を支援。 アジア太平洋気候ウィークで発表した内容を紹介する。 (Denia Syam, Yoko Okura, Anna Svensson による報告)					
1. 気候変動への対応はアジアの都市にとって緊急の課題である。 都市に居住する住民は増加し、気候変動が住民の生活への影響を与えている。 猛暑、干ばつ、洪水などの気候関連の災害はすでに一般的になっており、それらのリスクに対応するために、アジア太平洋地域の都市は、既存の政策や取組を変更するか、新たな政策等が必要である。					
2. インドネシアでの水資源管理の課題 インドネシアの人口 30 万人の都市 ; ペカロンガン市での活動を紹介。 ペカロンガン市が直面するリスクを理解し、その解決策を見出すために、 Mercy Corps Indonesia は地方政府、研究機関と協力して、気候変動のリスクと影響評価を実施した。 異常降雨、海面上昇による洪水の増加、地下水の過剰な揚水による地盤沈下などにより、2035 年には市の大部分が浸水すると予測。 アジア太平洋サミットでは、ペカロンガン市、インドネシア国家開発計画庁、ボゴール農業大学がペカロンガン市の直面している課題をとりあげました。					
3. “気候変動の影響は地域で異なる” 政策決定の為には地域のデータが必要 調査の結果として政策に反映するためのデータ等の重要性も強調されました。					

インドネシア政府の地域開発計画庁 ; The National Climate Resilience Policy, の事務局長のエドモ・ウトモ (Emodo Utomo) 氏は、資源が限られており、その投入のためには、地域や分野の優先度を検証する必要がある、その為には地域のデータが重要であることを強調した。また、
“気候変動は世界的な現象だが、その影響は地域によって異なる。” と Akhmad Faqih 氏 (ボコール農業大学の気候学者) は述べた。

4. 気候変動に柔軟に対応するためには、広域的・総合的な協力が必要

ペカロンガン市では、水源の集水域が2つの行政区域に跨がっているため、災害リスクを効果的に削減するためには広域的な水資源管理が必要である。

アジア太平洋気候ウイークの会議は、次のような提言で締めくくられた。

世界の沿岸都市が気候変動に立ち向かうためには、行政の境界、政府の階層、セクターを超えた協力が必要である。

ペカロンガン市の現在の取組 ;

セクターを超えたアプローチによる解決策が考案されている。

ゾーニング規制、水資源の保全、洪水管理の為にインフラ整備など、多方面からのアプローチで解決策を模索中。

★コミュニティと地方自治体の制度的能力の強化は、持続可能な開発の解決策における常に重要な要素である。

ペカロンガン市の気候リスクと影響については、次の URL で詳しく説明されています。

[\\$tmsr\\$niqi](#)

[\\$pq exi.\\$mo\\$rh.\\$g teqx\\$wwiwq irx2](#)

備考

1. Mercy Corps Indonesia ; マーシーコーポレート インドネシア

マーシーコープスは 1999 年からインドネシアで活動する、非営利団体。

自然災害に対しての備えや、災害後の復興など、人々がより良い生活を築くための支援を行っている。

昨年は、インドネシア全土で 250 万人以上の人々に支援を実施。

<https://www.mercycorps.org/where-we-work/indonesia>